

R × R =

Vol.1

H

appy



RITA 学園高等学校が開校して早や6カ月・・・。

学園生活の様子をお届けします。



【 4 月 】

4 / 9 (金) 【 始業式・開校式 】

本校は、4月1日より、禅林学園高等学校から RITA 学園高等学校へと校名が変わりました。新校名になって最初の学校登校日。生徒の皆さんは、何だかそわそわしている様子でしたが、式が始まると皆姿勢を正し、凛とした態度で式に臨みました。

また、開校式では ZOOM を使用し、本校の連携校である「アイエス学園 奈良学習館」の生徒の皆さんに配信を行い、生徒全員一体となって RITA 学園の開校を祝いました。



4/10 (土) 【 入学式 】

記念すべき、RITA 学園高等学校第一期生の入学式が挙行されました。新しい制服を身にまとった新入生の皆さんは、みなキリリと凛々しい顔をしており、これからの学校生活に対する決意を固めている様子でした。

新入生代表から、「仲間を思いやり、ともに協力し、学校名の由来となった「利他の心」を、一生懸命育てたい。そして、自分達の無限の可能性を信じ、幸せな社会、未来を創ることのできる人間になりたい。」と宣誓がありました。我々教職員も、気が引き締まる思いです。

いよいよ、3学年揃っての生活が始まります。新入生の皆さん、何か困ったことがあれば、上級生や教職員を遠慮なく頼ってほしいと思います。一緒に、充実した学校生活をデザインしていきましょう！



4/18 (日) 特別活動 【 利他育について 】

この日は【利他について】というテーマのもと、本校の小野校長と山下先生による、特別授業が行われました。

「他を利すると書いて、“利他”。じゃあ、「利己的行動」と「利他的行動」について、考えてみよう」

「みんなは、挨拶はいったい何のためにすると思う？先生の寸劇を見て、グループで話し合おう」

日常生活を送るうえで、どうすれば「他人」のための行動ができるのか。生徒の皆さんは、グループワークや教職員による寸劇を通して、本当の意味での「利他的行動」について考えることができました。

今日、利他について深く考え、利己と利他的行動の差を体験し、利己的行動と利他的行動の違いを学びました。利己的行動は自分自身のために行う行動であり、利他的行動は他人のために行う行動です。利己的行動は短期的な利益を得るための行動であり、利他的行動は長期的な利益を得るための行動です。利己的行動は自分自身のために行う行動であり、利他的行動は他人のために行う行動です。利己的行動は短期的な利益を得るための行動であり、利他的行動は長期的な利益を得るための行動です。



今回の授業を通して、自分自身が行う行動は利己的か、利他的かをしっかりと考えたいと思います。また、自分自身が行う行動が他人のために行う行動であるか、自分自身のために行う行動であるかをしっかりと考えたいと思います。

あいさつを元気よくすると、自分も相手も気分が良くなるんじゃないかと思う。他にも、利他的行動をしてみよう。自分自身が行う行動が他人のために行う行動であるか、自分自身のために行う行動であるかをしっかりと考えたいと思います。

【 5月 】

5/16 (日) 【 地元まち歩き (多度津町) 】

たどつまち歩きの会 会長の中津先生を講師としてお招きし、地元の歴史や文化について学ぶ、「地元まち歩き」を開催しました。この日のまち歩きの舞台は、RITA 学園本校のある「多度津町」です。多度津の港や金刀比羅神社 (須賀の金毘羅さん)、桃陵公園などを周り、それぞれ詳しく解説をしていただきました。多度津に住んでいる我々でも初めて知ることが沢山あり、とても勉強になった一日でした。



ふ、だん木とちがつかっている道や
町の歴史などが分かってうれしかたで
す。いつもと違ってトンネルがほとんど
電車が通っていたと知ってびっくりし
ました。とてもたのしかったです。

【 「創作」授業風景 】

創作の授業を受講している生徒が力を合わせ、素晴らしい作品を作りました。



校用車に
ラッピングさ
れました！！

【 6月 】

6/13 (日) 【 映画観賞会 (学校) 】

この日は、人見先生推薦の山田洋二監督作品「学校」を鑑賞しました。この映画は、「夜間中学の先生と生徒の交流」や「差別というものについてどう向き合っていくか」、ということが描かれており、「何のための学校なのか」、「なぜ学ぶのか、なぜ教えるのか」。その行きつく先の「幸福」とは何なのか。ということを考えさせられる映画でした。生徒も、自らが学ぶ意義について深く考えることができたようです。



今回の映画は幸福とは何かを深く考えさせる映画でした。
自分自身が幸福だと思える時、幸せだと思える時は人々を大切にうけとめる幸福を分かち合えたり共感できることが分かりました。



6/27 (日) 【 RITA 学園開校記念講演会 】

本校の開校を記念し、RITA 学園高等学校開校記念講演会を開催しました。講師をお引き受けくださったのは、株式会社宮田運輸代表取締役社長、学校法人利他学園理事の宮田博文さんです。ドキュメンタリー映画「愛でいけるやん」の上映と、豊かな人生経験に基づく講演を行っていただきました。講師の子供の頃のこと、会社を経験する中での苦労や成功体験、社員と向き合う時に心がけていること、「愛」が大切な理由などなど……。これから社会へと羽ばたいていく生徒達にとって大変身になる内容のお話をしていただきました。

どんな人に対して優しく接していいかわからずじまらしい
なと思いました。いきなり来た過去を聞いてみて自分が
変わるのと同じく変わって、周りが変わる会社が変わる、という事
ことを学びました。初めに比べて良社に雰囲気が変えてしま
うことの方が色々な所に尊敬しました。
これから熱い口で何かを仕事で頑張りたいです。
のことが講演会を聞いてはじめて知りかかった。



宮田社長は、従業員の意見や話をちゃんと聞いて
くれるので従業員も社長もすごく信頼しているのだと
思いました。
トランプに子どもがその絵をペンで描くかよと考えるのも
面白いと思え、香川県でもいっか見れるようになった
方がいいなと思いました。



【 7月 】

7/11 (日) 特別活動日 「地元まち歩き (丸亀市)」

今日の特別活動は、生徒の地元を散策し、その土地土地の文化財や歴史について学ぶ「地元まち歩き」でした。講師は前回のまち歩きの時と同じ、香川県の歴史や文化に精通しておられる中津先生です。今回は丸亀市を舞台に、日本一高い石垣のある「丸亀城」、丸亀市の新たな交流の場である「マルタス」、丸亀市ゆかりの画家・猪熊弦一郎さんの企画展「猪熊弦一郎美術館」などを巡りました。暑い中でのまち歩きでしたが、終わってみればあっという間。道中、「疲れたー」「暑いー」という声はありましたが、みな無事に今日のまち歩きを終えることができました。

今日丸亀市をまち歩きして、私はとても丸亀市のご
を歩きました。
丸亀城の中も入ったことありましたが、中に入れたからで
す。丸亀城は、とてもよく見ることができました。
あついな中、汗をかいてくれてありがとうございました。



7/13 (火) キャリア学習 「穴吹カレッジグループ見学」

進路選択の幅を広げるため、高松にある「穴吹カレッジグループ高松」に行っていました。工科カレッジ自動車整備学科・コンピューターカレッジ・デザインカレッジの施設見学と体験授業を受講することができ、ボリューム満点の一日となりました。生徒は、様々な分野の実践的な知識と技術を直接自分の目で見ることができ、「良い経験ができた」「楽しかった」と喜んでいる様子でした。



7/18 (日) 「 RITA 学園高等学校 卒業生講演会 」

RITA 学園高等学校の前身である専門学校禅林学園の卒業生を本校に招き「卒業生講演会」を開催しました。講師をお引き受けくださったのは、現在、航空自衛隊で活躍されている松崎祥太郎さんと、善通寺の自衛隊基地で広報官をされている田淵秀明さんです。航空自衛隊の解説ビデオの上映と、豊かな人生経験に基づく講演を行っていただきました。生徒の進路選択の一助となるような大変身になる内容であり、教職員にとってもためになるお話をさせていただきました。ご来場いただいた皆さん、講師の先生方、ありがとうございました！

自衛隊には興味があったので
お話を聞いてよかった
最初の何ヶ月かおもしろいという
話と聞いていたのでも面白かった
体験と聞いていたので楽しかったです。



【 8月 】 夏休み～

8/8 (日) 「 校内肝試し 」

教職員から夏休み中の生徒へのサプライズプレゼントとして「校内肝試し」を開催いたしました。発案者の藤原先生を中心に教員は会場設営を行い、幽霊に扮し、生徒を恐怖に陥れます。肝試し終了後は事務職員の方々が生徒へ素麺をふるまってくれました。夏休み中の思い出になるような、素晴らしい行事だったと思います。



【 9月 】

「令和3年度集中スクーリング」

8月30日から9月3日まで、前期集中スクーリングが行われました。家庭独修型の生徒たちは日ごろ、働きながら学習に励んでいます。コロナ禍で大変な時期ですが、皆、元気な姿で登校してくれました。休憩時間は友達や先生と談笑したり、進路相談をしたりと、限られた時間でしたが充実した5日間を過ごすことができました。彼らは明日からまた、各々のステージで仕事や練習とレポート学習の両立が始まります。働きながら学ぶことは、とても大変だと思いますが、このスクーリングでの彼らの姿を見る限り、絶対にやり遂げると確信しました。



10/16 (土) 【 第一回 RITA 祭 】

本校校舎にて【 第一回 RITA 祭 】が開催されました。当日は、生徒主催の「かき氷」や「ホットケーキ」、「チャリティーバザー」、「クイズブース」の出店と、地域の方々のアクセサリーやパン、ポテトフライなどの販売も併せて行いました。保護者の皆様を始め、地域住民の方々も多数来場していただき、本校の様子や生徒の雰囲気を多くの人に知っていただくことができました。大きなトラブルもなく無事盛況のうちに終わることができ、良かったと思います。生徒の皆さんも片付けまできっちり頑張っていましたね。

来場者やマルシェの皆さんを始め、ご協力いただいたすべてのみなさん、ありがとうございました！

来年は、ぜひご参加ください！！



10/17 (日) 【 夢プロジェクト 】

四国学院大学にて、第一回 RITA 学園高等学校「夢プロジェクト」が開催されました。まずは、この日の特別講師として、グリーンツダボクシングジムの本石昌也（もといしまさや）会長と、そのジムに所属されているプロボクサーの前田稔輝（まえだじんき）選手にお話しいただきました。会長からは、ボクシングに携わることになったきっかけや、今は亡き盟友との夢である「世界チャンピオンを育てる」ということを決意された経緯など、人生の中で感じた様々な思いをお話しいただきました。また、前田選手からは自身の夢である世界チャンピオンを目指すということについて、自分を信じる大切さを語っていただきました。両名とも、「自分を信じて夢を追いかけ続ける」という姿勢が話の節々に表れており、生徒はその熱い思いに感動している様子でした。RITA 学園の生徒は先日行われた「桜川クリーン作戦」や「町中で見つけた利他」についてまとめたものの発表や、自身の夢や目標についての発表を行いました。連携校のアイエス学園奈良学習館からも2名の代表生徒に参加していただき、RITA グループの未来を創る素晴らしい若者たちの決意を聞くことができました。

RITA 祭含め、ご協力をいただいた皆様方のおかげで、RITA 学園文化祭という二日間にわたる行事を無事に終了することができました。心よりお礼申し上げます。



Mr.Imai × 未来のタカラ



左側より今井真路理事長、樋口悠輝教員、阿蘇品花音さん、平井 巧さん

初めての理事長との対談ということで、理事長はじめ、未来のタカラの阿蘇品花音さん、平井巧さん、そしてインタビュアーの樋口先生も少々緊張気味の中、始まりました。

理事長として期待する生徒像とは？

理事長 みなそれぞれに可能性があることを信じ、過去の失敗に捉われず、未来に向かって明るく前向きに、それぞれの大切な命を輝かせてほしいのが一番。そして、自分だけでなく他の人も大切な命であることを理解し、自分を大切に生きてほしい。利他というのは、まず相手のことを思うこと、そして自分ができるところから実践してほしい。

阿蘇品 生徒のことを考えてくれていてうれしいです。

平井 同じです…

初めて「RITA学園」のゼッケンをつけてインターハイに出場した心境は？

阿蘇品 今まで、禅林学園の先輩方が優秀な成績を残してこられたので、私も「RITA学園高等学校」として、まず自分が成績を残し、少しでも学校が明るくなったらなあと思いました。

(お〜素晴らしい)

先生や家族がいい成績が取れる

よと言ってくれるのはうれしかったです。少しプレッシャーでした。

平井 それは重かったですね。背中にもズンとききました。

理事長 本当は二人の応援に行きたかったけど、コロナ禍で行けなかった。二人が「RITA学園」のゼッケンを背負って頑張ってくれたことに感動した。歴史に残る一歩を二人が残してくれたんじゃないかな。

将来どんな学校にしていきたいですか？

平井 行事が沢山あり、楽しいですけど…

生徒主体になって、みんなができる、簡単なスポーツもいいと思います。

阿蘇品 人として心の在り方を、先生と生徒と一緒に学んでいける環境ができたらいいなあと思います。

理事長 本学園が一番大切にしていることで、禅林学園の時から大切にしていることでもあります。

もっともっと大きく、広く、一人ひとりの個性を大切に育みながら、お互いを思いやる優しい心を大切にするにより、ばらばらでなく皆で共に明るくいきている社会にしたい。利他の心を大切にしてほしい。

十年後の利他学園はどうなっていると思いますか？

平井 利他的な心でできた人がいっぱいできそう。

阿蘇品 社会で活躍している人が、利他学園の出身であってほしい。

理事長 十年後、二人が社会で頑張っていますと、後輩たちの前で発表してほしい。皆がそうなることがRITA学園の目指すところ。それぞれが目指すところを頑張つて、輝いている姿を見ることができたら嬉しい。

RITA学園を卒業したと自慢したくなるよう、教職員、生徒一丸となつていい学校を作りましょう！

～クラスの窓から～

♪♪♪ 生徒の思い Vol.1 ♪♪♪

ためになる『利他育』



3年 阿菰品 花音
生徒会長

RITA 学園高等学校が開校し、約半年が経ちました。禅林学園高等学校から RITA 学園高等学校に変わり、生徒の数も徐々に増えて、一緒にゲームを楽しんだり、話をすることがとても充実しているなど感じています。

最初はどんな学校になるのか不安でしたが、新入生が入学し学校行事が増えたことで、学年の垣根を越えて生徒全員が明るく学園生活を送れているように感じています。また、今年度から始まった『利他育』の授業を受けてから、周りの人に目配りができるようになり、自分のことだけでなく他人にも優しく接することができるようになったと思います。例を挙げると、私の家のマンションのエレベーターに乗って私が住んでいる階に到着した後、他の住人が乗りやすいように1階のボタンを押し、エレベーターを下すようになりました。

今後も『利他育』を学んでいき、先生方や後輩達と共に楽しく残りの学校生活を送っていきたいと思います。



感謝



1年 三野 晃

僕が RITA 学園高等学校に入学して良かったと思うことは3つあります。

1つ目は『利他育』という授業をとおして全学年で互いの意見を言い合うことで色々な考え方があることに気づくができたということです。他人の幸福を願う「利他」について考えたり、皆で話し合う時間は悩んだりするけれど、(そうかー)と発見もあるので面白いです。

2つ目は日曜日の特別授業です。講演会や利他について学ぶためのボラティア活動、町歩きや映画鑑賞などの特別学習は色々な体験をさせてもらうので毎週楽しみです。

3つ目は先生や先輩、友達と過ごす毎日が楽しく、学校を休みたいと思ったことはありません。先生は熱心に教えてくれるので、授業に飽きることはありません。

この学校は人として大切なことは何かを学ぶことができます。先生方は学園生活をそっと見守ってくれるので最高の環境です。僕は中学生の時より前向きになれたと思います。

RITA 学園に感謝しています。

My たうん 多度津町

第1回：金剛禅総本山少林寺



多度津駅前には「少林寺拳法発祥の地」モニュメントが建てられている。

My たうん多度津町・・・このページは本校所在地である香川県仲多度郡多度津町のおすすめスポットを生徒が訪問し紹介します。記念すべき第1回は、多度津町から世界に広まった武道である少林寺拳法発祥の地、金剛禅総本山少林寺を1年生の三野晃君と西野峻理君が案内します。少林寺拳法は1947年に宗道臣先生により創始された武道であり、現在までに延べ180万人超の拳士が学んでいます。

元々は桜川沿いの自宅の5畳半の道場からスタートしましたが門下生が増加し、1967年に現在の桃陵公園の一角に場所を移しました。少林寺拳法グループは宗教法人金剛禅総本山少林寺、一般財団法人少林寺拳法連盟、一般社団法人SHORINJI KEMPO UNITY、学校法人禅林学園の4つの法人から成っていましたが、今年度より学校法人禅林学園が学校法人利他学園に移譲され、RITA 学園高等学校の開校へという運びになりました。

さて、三野君と西野君は共に多度津町在住ですが、三野君は小学校1年生以来、西野君は初めて本部の中に入り感激の様子です。館内を金剛禅総本山少林寺宗務部 細川真志さんが案内してくれました。まず讃岐平野が一望できる場所に建てられている宗道臣先生の霊廟に参りました。次に600畳の広さを有する本堂に入り、その広さに2人はビックリしています。正面には本尊である達磨像が祀られ、拳禅一如と書かれた大きな扁額が掲げら



正面の山門（仁王門）

ています。三野君と西野君は細川さんから仏教の起原や少林寺拳法の教えである「力愛不二」について説明を受けました。力なき正義は無力なり 正義なき力は暴力なり。力と愛のどちらも欠けてはならないということに2人は納得した様子です。



開祖 宗道臣先生の霊廟に参る

続いて講堂へ移動しました。在りし日、何百人の拳士を前に人間としてどうあるべきかを説かれた場所です。2人に「これから頼むぞ!」という宗道臣の声が聞こえたのではないのでしょうか。最後に訪れたのは錬成道場です。1967年に建てられた本部内でいちばん古い道場です。道場に着座し、細川さんから少林寺拳法の歴史と理念を学びました。訪問後、三野君は「今回の訪問で多度津発祥の少林寺拳法がよく分かり良かったです。」また、西野君は「初めて入って広さに驚きました。」とのことでした。



坂下充 評議員と本堂前で記念撮影



錬成道場では着座をして少林寺拳法の歴史を学びました。金剛禅総本山少林寺様、取材へのご協力、ありがとうございました。

「RITA 学園高等学校に期待するもの」

徳武産業株式会社

代表取締役会長 十河孝男 (学校法人利他学園監事)



R I T A学園は、香川の伝統校禅林学園の理念「人づくり」と稲盛和夫氏の提唱する「利他の心」を融合させた、新たな教育理念を掲げてスタートいたしました。

稲盛和夫氏は、京セラとKDDIの創業者であり、また経営破綻したJALを再生された方で、全国の経営者の勉強集団“盛和塾”の塾長でもあります。私は、稲盛氏の教えの通り「利他を優先する」を会社の実践目標として掲げました。お客様、得意先様、仕入先様、地元地域に対して、善きこと、正しいことを判断基準として社内に浸透させ、社員と共に歩んで参りました。稲盛氏は“そういう意思決定が運命を好転させる結果を招いていったような気がする”と述べられています。私の会社が発展を続けてこられた源は「利他の心」にあると思います。そして見えない力、エネルギーを頂いたと確信しています。

現在、子供達はストレス社会の中にあり、目標が見つからず指針を見失って苦しむ子供達が多いように思われます。R I T A学園の素晴らしい理念、教育方針のもと、人としてのよりどころを見つけ、次代を担うたくましい若者が育ってくれることを願ってやみません。

世の中はコロナ禍で揺れていますが、時代の先を見据え、新しい挑戦に多いに期待しております。

株式会社宮田運輸

代表取締役社長 宮田 博文 (学校法人利他学園理事)



近代資本主義は利潤の追求、利潤の追求が自己目的化した現代社会を創り様々な課題を私たちに突き付けられています。現在の自国利害の理念では自己中心的な人々が増える。持続的発展する地球は望めない。将来世代に素晴らしい地球を繋げていくことが大切です。

その為には利他という人類が等しく備えている全人類に通底する価値観とその利他で生きる力を養うことが未来を創る。私たち事業経営の目的を問われるとお互いの人間力向上、人間性が発達し続ける事業構造を創ることで。R I T A学園高等学校はそんなすべての人間が利他の想いを育ていき、調和や共生する全体観を持った利他の精神で社会に出てもその純粋な心で仕事や人生

を歩んでいける社会を共に創る人財としてのいのちを輝かせて欲しいのです。

私たち事業経営者が理想や理念を語らず何を語るのか、利他の大きな愛ある中小企業の会社が子供達と一緒に残したい未来を創るのです。どうか多くの経験を共に価値に致しましょう。

教育理念

「利他の心を育む」教育を通じて、関わる全ての人の素晴らしい人生を応援します

校章



RITA 学園高等学校 校章のコンセプト

どこからでも、いつでも、「学び」へと途切れなく繋がる道をイメージしました。また、一直線だけでなく、その間の曲線にも「急がば回れ」という意味があります。この校章は、RITA 学園での学びの道をシンプルにシンボライズしようという考えのもと、考案しました。

教育目標

「利他に基づく」社会の実現に向け、知・徳・体の調和を図り、豊かな人格と社会で活躍する人財を育てる。

- ① 個々の生徒の持つ能力・才能を信じ、その伸長に努める
- ② 個々の生徒の創造性を養成し、自ら学び、自ら考える力を育てる
- ③ 個々の生徒の豊かな人間性と『利他』の心を育む
- ④ 個々の生徒の体力向上と健康な心身を育成する
- ⑤ 社会に貢献できる人財を育成する。生徒一人一人が、自らの意志で夢を膨らませながら学びやすい教育環境をつくる

理事長挨拶

「繋がりを力に。共に未来を創る」



日ごろは RITA 学園高等学校をご支援いただき誠にありがとうございます。この場をお借りし心より感謝申し上げます。

私は、京セラ創業者稲盛和夫氏が塾長である『盛和塾』で経営哲学を学ばせていただきました。稲盛哲学の真髄とは「人として正しい判断をする」ための「考え方」、その考えの根源となる「心」を高めること。まさに利他哲学です。人は自らを守るためついつい利己的になりがちです。しかし、心を高めることで自利利他へと昇華させる。利他と利他は繋がっており、どこまでも広がっていく。この利他の歩みこそが、より大きな自己実現、幸せの道だと信じています。

RITA 学園では誰もが持っている『利他の心』を育み、自らの無限の可能性を信じ、未来に夢と希望を抱き、自分と他者を分けるのではなく、自分も他者も共に良くなる。一人ひとりの命がイキイキと輝き素晴らしい人生に。そんな誰もが幸せな社会、未来を共に創っていく人財に育ててほしいと願っています。

これからも応援企業の皆様との繋がりを力に、こどもたちの未来を共に創っていきたくと願っています。今後とも何卒宜しく願いいたします。

RITA 学園高校の展望について - コロナ後の社会を見据えて -



新型コロナウイルスの感染が世界中に拡大し世界が危機に直面する中で、本校は、令和3年4月から少林寺拳法を学ぶ「禅林学園高等学校」から「RITA 学園高等学校」へと校名を変更しリスタートいたしました。

校名につく「利他」という言葉は、パンデミックの状況において大いに注目されています。また、「利他」という言葉は、ビジネス現場において職業観・勤労観を育成するための重要なキーワードであります。

たとえば、フランスのジャック・アタリは著書『命の経済』でパンデミック後の新しい世界について、われわれがパンデミック以前の世界に戻ることはあり得ない。この混乱した危機をパラダイムシフトの瞬間と捉え、今こそ、危機をチャンスに変えようではないかと呼びかけ、この計画を「命の経済」と命名しています。そのキーワードとして「利他主義」をあげています。

また、ドイツの若き哲学者でボン大学教授のマルクス・ガブリエルは、コロナは人類の存続にとって「最後のチャンス」だと言います。その意味は、人口の増加や地球環境の破壊、さらに大量破壊兵器などは、「人類存続の分岐点」である、その解決方法は、「私たちが道徳的にまっとうな経済システムを作り出せるかどうかにかかっている」と言います。つまり、「利潤資本主義から倫理資本主義」に変化すべきだということです。それは「経済と倫理は相反するものではなく、相互補完的なもの」と考えるべきだということです。

この、ガブリエル教授の「倫理資本主義」の哲学は、稲盛和夫氏が実践するフィロソフィによる経営実践であるとも理解できます。稲盛氏は2014年のオックスフォード大学の講演で、「強欲な資本主義によって生まれた格差社会がこのまま推移していけば、世界的な社会秩序の崩壊につながることを危惧いたします。一人の有能な経営者が高給を得て、企業経営を差配し、多くの従業員を支配し、その富を搾取するような経営であってはならないはずで、社員も共感できるリーズナブルな報酬を得る経営者が、一人一人の社員の力を最大限に引き出し、その力を結集させ、すべての社員の物心両面の幸福を実現していくことに努める経営こそが、資本主義社会の矛盾を是正し21世紀のグローバル社会にふさわしい経営ではないでしょうか」と「フィロソフィに基づく経営の重要性」を述べています。以上のように考えると稲盛和夫氏の経営実践やアメーバ経営（フィロソフィに基づく経営）は、今後のコロナ後の世界標準になると思われます。

RITA 学園高校は「利潤資本主義から倫理資本主義」への社会変容を根底に踏まえ、「倫理と経済は補完関係である」という職業観・勤労観を育む学校づくりを目指しています。「利他の心」を理念とし経営者と従業員が互いの利益（幸せ）を得るための関係（相利関係）を築くという職業観・勤労観は人生の幸福につながるのです。

連携校・サポート校紹介

連携校：アイエス学園 奈良学習館



利他の心を育む『共育』を大切にしており、一人一人に向き合う指導を行っています。勉強が苦手な生徒に対しても基礎から学べるようオリジナルテキストを使い、勉強を進め一人ひとりに向き合い何が苦手なのかあらゆる面からアプローチし対話しながら信頼できる居場所作りをしています。将来に向けて10年後の夢を発表する夢プロジェクトも行っています。

自分の夢を模索することにより、自己を見つめ、成長できるきっかけになっています。

また、商業科目の履修や様々な資格を取得できるようにサポートを行います。

アイエス学園長 高木健司



サポート校：アイエス学園 神戸学習館



2021年4月より RITA 学園のサポートセンターとして開校しました。通信制の高等学校卒業に必要なレポートやスクーリングのお手伝いだけでなく、卒業後の未来を描くために様々なオリジナルのカリキュラムを用意しています。奈良のアイエス学園と同様に基礎から学べる授業と自立するために大切なことを学ぶ授業を組んでいます。

また、サポート校であるため出席日数を気にすることなく、自分のペースで登校し卒業を迎えることができます。



サポート校：紀州新南学習館



RITA 学園高等学校の教育理念に心を寄せ、和歌山の地で2021年4月より、RITA 学園高等学校サポートセンター 紀州新南学習館を開設させて頂きました。

年々、不登校並びに転学を余儀なくされてしまう高校生、進路に悩む中学生に寄り添いチャンスを見出してもらい高等学校卒業資格を取得出来るように、日々活動をしております。

「人が人を動かす第一歩」のサポーターとしての役割を發揮できるよう、怠らず精進していきたく思います。

紀州新南学習館
代表 廣田眞司



編集後記（機関誌発行に寄せて）

令和3年4月1日、RITA 学園高等学校という船は今井船長のもと、未知の大海原へと船出しました。船出から約半年が経ち、ふと出航した港を振り返ると遥か遠くに見えるような気がします。たった半年ですが、とても充実した密度の濃い日々であったと思います。これから船はもっともっと加速していきます。全国への展開、教育システムの開発、新カリキュラムの運用等々、世界のどこにもない学校づくりが始まります。その後ろ盾となり応援していただいている企業の皆様にはこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

『子供たちの明るい未来を創りたい』今井理事長以下教職員一同、そして応援いただいている皆様方と意思を一つに邁進してまいります。

この度、機関誌の編集作業にあたり、改めて多くの方々思いのもとに本校が存在することを実感いたしました。ご覧になられたように、本当に生徒達は良い顔をしています。この生徒達が将来、利他の教を世界に広めていって世の中が幸せで溢れる・・・こんな世界を想像するだけでワクワクしませんか。

この機関誌は年に2回の発行予定です。限られた回数ではありますが、これからも生徒達の笑顔や学園の様子をお届けできればと思います。

機関紙編集委員会 高見 久



船出の日 令和3年4月1日 RITA 学園高等学校校舎にて



学校法人 利他学園

RITA学園高等学校

RITA GAKUEN HIGH SCHOOL

〒 香川県仲多度郡多度津町西浜 1 2 - 4 4

TEL : 0877-32-3000 FAX: 0877-32-3236

info@rita.ed.jp

<https://www.rita.ed.jp/>

Homepage



Facebook

